

地域の子どもたちを見守ります 地域安心安全ステーション開所式

6月4日(月)、深江町内の旧深江駐在所で、江口警察署長や元山副市長、地元の保護司などの関係者が集まり、「深江地区安心安全まちづくりボランティアくすのき会」(薄田藤和会長)の地域安心安全ステーション開所式が行われました。これは旧深江駐在所を活用し、地域の防犯活動の拠点とするもので、ボランティア団体が自主防犯活動を行います。薄田会長は「犯罪やいじめなどから子どもを守るよう、地域全体で取り組みたい」とあいさつ。それに対し元山副市長は「ここを防犯活動の拠点とし、パトロール活動や地域安全情報の発信など、自主防犯の輪を広げていただきたい」と期待の言葉を述べました。今後は、子どもの悩みや保護者の相談などにも対応する予定で、「子どもの駆け込み場」としての役割も期待されます。



生き物って、かわいいね! ふれあい動物園開園

6月5日(火)、市立大野木場小学校で、島原農業高校の生徒による「ふれあい動物園」があり、子どもたちは、ふだん触れ合うことのない動物たちに恐る恐る餌をあげたり、ウサギや手のひらに乗るほどの小さなハムスターをやさしく抱っこしたりして触れ合いました。

農業高校生が、部活動の一環ということで、ボランティアで開催。指導された同校の山田先生によると「年間30回以上、学校や施設などの訪問活動を行っています。生徒の勉強にもなるし、とても喜んでいただいています」と話されました。しかし馬のしつけなどはとても難しく、まさに「真剣勝負」とのことですが、この日はやさしい動きで子どもたちを背中に乗せていました。



思いよ、とどけ! 能登半島地震災害支援チャリティーコンサート

5月23日(木)、ありえコレジヨホールで「能登半島地震災害支援チャリティーコンサート」が開かれ、約400人の観客が太鼓や尺八、ギターと歌声のハーモニーで楽しみました。このコンサートは深江町の和太鼓グループ『和道・深江太鼓』(岩永和昭代表)が主催。雲仙普賢岳噴火災害で全国から受けた温かい支援に対し、その恩返しとして、「自然災害で被災した能登半島の被災者を支援したい」との思いで開催されました。

コンサートではプロの太鼓演奏者、林田博之さんや深江太鼓の皆さんが力強い演奏で観客を圧倒。太鼓のあとは田嶋直士さん、謙一さん親子の幻想的な尺八演奏、県内在住の山口修さんのギターに合わせた奥さんの歌声が響きました。最近ヒットした『千の風になって』が演奏されると、会場は大きな歓声につつまれました。



念願の初優勝!! 第14回 全国クラブチーム サッカー選手権大会長崎県予選大会

5月13日~27日までの3日間、雲仙市および諫早市にて『全国クラブチームサッカー選手権大会長崎県予選大会』が開催されました。3日間熱戦が繰り広げられる中、有家FCはチーム全員一丸となりよく走り、最後までボールを追いかけ、見事初優勝の栄冠を手にすることができました。大会MVPにもゴールキパーの相川健太郎選手(有家町久保)が選出されました。同九州大会は9月22日(土)・23日(日)に雲仙市で開催され、全国大会出場をかけた長崎県代表として出場しますので、皆さんの応援をお願いします。



島原の乱の地で公演 ミュージカル「天草四郎」

5月20日(日)、ありえコレジヨホールで、ミュージカル「天草四郎」の公演があり島原の乱という歴史的な舞台の地元での公演に多くの来場者が訪れました。

ミュージカルならではの歌と踊り、往時の衣装を身にまとい、迫力ある島原の乱を見事に描ききった舞台は、しばらくの間観客を乱の時代へ引きずり込みました。

原城や日野江城などが世界遺産登録の暫定リスト入りを果たし、注目をあつめる当地での開催に、観客からは「地元での公演はとてうれしい。感動しました」との声が多く寄せられました。



会場は笑いの渦に! 「上方演芸会」公開録音

5月25日(金)、ありえコレジヨホールで、NHKラジオ第1の人気番組「上方演芸会」の公開録音が行われました。当日は不安定な天気でしたが、会場は早くから行列ができるほどの人気ぶりで、約700席の会場は満席になりました。

この日のゲストは横山ホットブラザーズさん、酒井くにお・とおるさん、今いくよ・くるよさん、プラスマイナさんらベテランから若手まで多彩なメンバーが会場を笑いの渦に巻き込み、中でも長崎弁をおもしろおかしくとらえたネタや、「島原の子守唄」を取り入れた漫才には観客から大きな笑い声があがっていました。



あなたの手が大切な命を救います AEDを使った普通救命講習会

5月17日から29日まで、市内8カ所で市の職員を対象にAED(自動体外式除細動器)を使った「普通救命講習会」があり、多くの職員が使用方法などを学びました。

最近、いろんな場面で注目を集めているAEDは、心臓停止などの緊急事態に威力を発揮する注目の機器です。

AEDの操作説明を含む普通救命講習は、市の行事や学校のPTA活動などでも行われるようになりましたが、まだの人はぜひ一度ご参加ください。あなたのその手で大切な人の命を守るために…。



お日さまみたいに、大きく咲いてね! ボランティアグループが「ひまわり」の種まき

5月19日(土)、布津町新田の国道沿いの休耕地で、市の花「ひまわり」の種まきが行われました。これは南島原環境循環ネットワーク(下田利春代表)が企画したもので、布津町内の保育園や幼稚園児、ボランティアなど約100人が参加。約12アールの畑には、目印となるロープを張りながら、横一列に並んだ子どもたちの小さな手で、種一粒一粒が丁寧に植えられていきました。

このほか、有家町の消防署付近など市内各所にも種まきを行っており、市の花「ひまわり」の開花を待ちます。花が咲くのはお盆ごろ(種をまいてから、おおよそ2カ月程度)で、大空を見つめる大輪が待ち遠しいですね。

